

事業所名

児童発達支援 すぴーる

支援プログラム

作成日

2024 年

9 月

6 日

法人(事業所)理念		1) 保護者参加型の療育を実施し、保護者と一緒にこどもの発達を考えていく 2) あそびを通して、「わかった」「できた」「たのしい」という成功体験をたくさん積み重ねていけるよう支援していく 3) 日常生活のなかでの基本的な動作・社会性・体づくりなどを、こどもたちの発達課題に合わせた小集団や、個別療育の中で支援していく								
支援方針		1) 保護者同伴の療育であるため、日常生活の中での困り感や関わり方についての助言を実施するとともに保護者の相談にも随時対応していく 2) 毎回のプログラム内容は作業療法士や保育士がこどもを評価し“少し頑張るとできる課題”を設定し支援していく 3) 保護者の希望に応じて所属園所と連携していく								
営業時間		9 時	15 分	から	17 時	15 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	1) 健康状態を観察する。意思表示が困難である利用児童の様子から異変が見られた場合、すぐにその場で保護者に伝え共有する 2) 食事、排泄、衣服着脱、来所時/降所時の準備や片付け等について利用児童に応じた目標設定を行う								
	運動・感覚	1) 姿勢保持・調整の土台となる身体を支える力を伸ばすと共に、利用児童の発達課題に応じた協調運動遊び等のプログラムを実施する 2) 道具操作の基礎となる手や指の遊びや、制作遊び・はさみ・スプーン・箸などの道具操作練習を実施する								
	認知・行動	1) 物の名称や用途、形、色、数唱、数の概念、空間認知、時間の概念などを習得していくためのプログラムを実施する 2) 利用児童に応じた認知特性や行動特性を踏まえ、個々の理解に応じた個別のプログラムを設定・実施する								
	言語 コミュニケーション	1) 個々の課題に配慮した場面を設定し、人を意識した関わりやコミュニケーション方法が獲得できるように丁寧に教えていく 2) 非言語コミュニケーションや言語コミュニケーションを用いて意思表示の幅が広がられるよう、課題だけでなく準備や片付け等の場面からも支援を行う								
	人間関係 社会性	1) 事業所内でのルールを知り、家庭以外の場所やルールの中で過ごす(遊ぶ)経験をする 2) 家族や所属園以外の大人との関わりやこども同士の関わりの中で、他者を意識し模倣したり、一緒に〇〇したいという気持ちを育てていく 3) グループ療育では他児との仲間づくりを意識し、一つの遊びを共有することや勝敗にこだわらない遊び、遊び方や順番をこども同士で相談して決める、などのプログラムを実施する								
家族支援		1) 保護者同伴での療育のため、毎回課題のねらいや目標、介助するポイント等の説明や解説の実施 2) お子さんの発達に関すること、家庭生活、身辺自立、集団生活、きょうだい児、福祉制度、就学相談等に関する相談・助言等の実施				移行支援		1) 利用児童の所属園所との連携支援 2) 入園・入学など次のステージに向けた準備、課題の設定・実施 3) グループ療育では発達課題に応じた集団を形成し、プログラムの中で役割を与えたり意図的に他児と関わる課題を設定・実施		
地域支援・地域連携		1) 必要に応じて利用児童の所属園所との連携支援 2) 相談支援事業所との連携				職員の質の向上		1) 定期的な研修会(内部・外部)の実施 2) プログラムの打ち合わせ、日々の振り返りを実施 3) こどもの行動や介助方法についての研修を実施		
主な行事等		現在は実施していない。今後必要に応じて検討していく								